

経済学博士 島本得一教授退任

記念論文集

商経学叢 No. 53

1975年12月

近畿大学商経学部

島本得一博士近影



刊 行 の 辞

商経学部長 生 島 広治郎

元教授、島本得一博士は、1857年（今から93年前）に大阪船場の材木商の家にお生れになった。先祖は、代々「明石屋九兵衛」の屋号で営まれ、曾祖父は、紀州藩士島本家から養子として明石屋にこられた。祖父の代に分家して、横堀五丁目に店を出し、灘五郷の酒造家相手に桶木屋を始められたが、父の代になって、商売を番頭に譲り、大阪府知事官房の吏員となって、好きな読書三昧を楽しんでおられた。島本博士はこの父が残された沢山の書籍に囲まれて青少年期を送られました。

明治36年に官立神戸高等商業学校に入学されたが、その翌年、母を失って大きなショックをうけられた。

明治41年3月の神戸高商の卒業論文は証券取引所関係の論文でありましたので、博士は大阪株式取引所へ就職を希望されましたが、うまくゆかず、結局、十合呉服店に就職されることになった。しかし、2、3年たって、株屋の「渡辺市兵衛商店」に就職されることになり、明治45年3月には、ついに、念願の大阪株式取引所に入社する機会に恵まれました。

取引所にご在職中、倉庫に保管されていた上場会社の数多の考課状（営業報告書）をもとに「会社総覧」を纏められ、国文社から出版されることになった。そしてその後2回、これに追加、訂正されて出版された。

こうした調査活動に着目されて、時の理事長島徳氏の命によって、大正10年5月、天津取引所の創立に参画され、取締役支配人に就任され、それが軌道に乗ると、次に漢口取引所を設立するよう命ぜられた。そして大正11年2月、同所の取締役を兼任された。しかし取引所を設立したものの、その存在意義に疑問を抱かれて取締役を辞任されて単身帰国されたところ、神戸高商の

同窓生で兵庫米穀市場の理事長をしていられた石川茂兵衛氏に頼まれて神戸大豆粕取引所の設立に協力されることになった。これが、後の神戸穀物取引所の前身である。そして、昭和2年4月この取引所が創立されて常務理事に就任された。その後、昭和12年5月、東株代行株式会社に入社され、短期取引の制度化に尽力されたが、昭和19年から短期取引が停止されたのを契機に同社を辞任して大阪へ帰られることになった。

教職としては、大正7年4月から10年3月まで神戸高等商業学校非常勤講師を勤められ、更に、大正14年4月から昭和3年3月まで再び同講師を勤められた。その後、東京の専修大学の講師も勤められました。

昭和28年11月から近畿大学に招かれて商経学部専任講師となられました。この頃、所書店で、出版業を手伝う傍ら、わが国の株式売買仕法の研究をつづけられて、多くの論文を雑誌に寄稿されていました。

昭和30年9月、近畿大学商経学部専任教授に就任され、証券取引関係の講座を担当され、証券制度、売買仕法、市場機構に関する各種の研究を進められたが、特に興味をもって取り組まれた問題は、堂島米取引所の研究であった。その研究を通して、米切手が有価証券であって、堂島米会所は商品取引所ではなく、証券取引所であるという結論に到達された。

そして、この研究によって立派な博士論文を完成され、これを大阪大学経済学部提出されて昭和36年12月1日、経済学博士の学位を授与されました。

かように、島本博士の生涯は証券の実務と研究に没頭されており、わが国の証券理論の研究に偉大な貢献をされたことは明らかであり、その明晰な判断力と実証によって裏付けられた理論は敬服に値いするものであります。

なお、類稀れな健康に恵まれて、90歳をこえられた今日も依然として状者を凌ぐ研究心をもって学問に従事しておられる姿は、世の学者、学生諸君の範とするに足りるものである。ここに記念論文集を刊行するに当り、博士の業績を讃え、その長寿を祈願する次第であります。

昭和50年11月

島本教授著作目録

著 書

書 名	発行年月	発 行 者
1. 北浜と兜町……………	大正 5 年 10 月	所 文 雅 堂
2. 取引所法令と通語……………	同 9 年 5 月	同 文 館
3. 本邦証券取引所の史的研究……………	昭和 17 年 10 月	所 文 雅 堂
4. 徳川時代の証券市場の研究……………	同 28 年 1 月	産 業 経 済 社
5. 有価証券市場論 上・中・下……………	同 30 年 7 月	産 業 経 済 社
6. 蔵米切手の基礎的研究……………	同 35 年 6 月	産 業 経 済 社
7. 改訂増補有価証券市場論……………	同 36 年 2 月	産 業 経 済 社
8. 証券取引慣行論……………	同 36 年 12 月	ダ イ ヤ モ ン ド 社
9. 取引所講話……………	同 38 年 4 月	フ タ バ 書 店
10. 米切手図録（徳川時代の有価証券）…	同 39 年 3 月	明 徳 舎
11. 新訂証券講話……………	同 42 年 5 月	フ タ バ 書 店
12. 堂島米会所文献集……………	同 45 年 9 月	所 書 店

論 文

題 目	発表年月	発 表 誌
1. 日本に於ける理想的取引所 （深川正米市場）……………	大正 4 年 12 月	東京経済雑誌 72 卷 1831 号
2. 株式取引所の計算整理方法及び 仲買人損益調査方法改良案……………	同 7 年 4 月	会計第 3 卷第 1 号
3. 指定落による株式取引所仲買人の 建株損益調査方法……………	同 7 年 8 月	会計第 3 卷第 5 号

題 目	発表年月	発 表 誌
46. 証券取引所の違約損失補償制度……………	昭和 27年12月	バンキング57号
47. 信用取引か清算取引か……………	同 28年 2月	バンキング59号
48. 我国の取引所における売買締結方法…	同 28年 3月	バンキング60号
49. 証券取引所におけるバイカイの研究…	同 28年 4月	バンキング61号
50. 徳川時代の投機機構とその影響……………	同 28年 5月	バンキング62号
51. 取引所の会員と顧客……………	同 28年 6月	バンキング63号
52. 証券取引所における取引仕法の研究…	同 28年11月	バンキング68号
53. 証券取引の機構改善具体案について…	同 29年 3月	バンキング72号
54. 証券定期取引を基盤とした取引仕法…	同 29年 6月	バンキング75号
55. 株式額面の引上と無記名株……………	同 29年 7月	バンキング76号
56. 日本の取引所における委託者保護の 制度……………	同 29年11月	バンキング80号
57. 記名株の有価証券適格性と 株券寄託振替保管制度……………	同 30年 3月	バンキング84号
58. 証券金融会社の併合……………	同 30年10月	バンキング91号
59. 証券定期取引要綱案の検討……………	同 30年12月	バンキング93号
60. 株式定期取引に関する論議をめぐって	同 31年 2月	インベストメント 9巻2号
61. 証券取引の仕法について……………	同 31年 4月	インベストメント 9巻4号
62. 徳川時代大阪における証券投機……………	同 31年 3月	近畿大学30周年記念 論文集
63. 株式額面引上強制と株主の併合……………	同 31年 8月	バンキング101号
64. 株式会社における不生産的事務の 合理化と株主の併合……………	同 32年 2月	近畿大学商経学叢 5巻2号
65. 喪失記名株券の回復について……………	同 32年 3月	バンキング108号
66. 記名株券の本質とその発行禁止……………	同 32年 7月	バンキング112号

題 目	発表年月	発 表 誌
67. 証券取引所における最近のバイカイ 問題……………	同 33年 7月	バンキング112号
68. 額面株の時価発行問題……………	同 34年12月	バンキング141号
69. 証券信用取引における投資者保護……………	同 37年 5月	バンキング172号
70. 東京大阪往復要信刺 (大阪株式取引所創立事情)……………	同 38年 6月	インベストメント 6月号
71. 取引所取引における売買の相手方……………	同 38年 7月	バンキング187号
72. 日本における株式投資信託の発展と 投資者保護……………	同 39年 6月	バンキング195号
73. 定期取引の創始者西郷幸右衛門……………	同 39年10月	バンキング199号
74. 信用取引の全貌とその改廃……………	同 41年10月	近畿大学商経学叢 31号

— 目 次 —

生島廣治郎あいさつ

島本先生「目録」

徳川時代の証券取引所……………	島 本 得 一…………	1
上河宗義の経営理念……………	竹 中 靖 一…………	75
島本説“蔵米切手”の理論……………	後 藤 文 利…………	93
株式保有の機関化現象について……………	嶋 田 昭 孝…………	119
商品定期市場の当面する課題……………	高 橋 弘…………	137
証券取引の中央市場集中化について……………	杉 江 雅 彦…………	155
「島本文庫」について……………	藤 田 喜 六…………	173
日韓国交正常化以後の貿易と農政の動向……………	池 上 隆 雄 金 桓 基…………	207
「決定理論の構造」……………	横 山 益 治…………	221
都市化と農業……………	正 徳 道 弘…………	241
J. F. Schär『簿記及び貸借対照表第5版』(1922)に もとづく『附録Ⅱ・物価騰費(Teuerung)』(翻訳)……………	林 良 治…………	265
マーシャルの需要曲線(2)―続―……………	磯 川 肱…………	293

商 經 学 会 規 約

- 第 1 条 本学会は近畿大学商経学会と称する。
- 第 2 条 本学会の事務所は本学商経学部資料室内におく。
- 第 3 条 本学会は商学、経営学、経済学に関する調査研究及びその成果の発表を目的とする。
- 第 4 条 本学会は本学商経学部及び大学院商学研究科の専任の教授、助教授、講師、助手、副手を以って組織する。
- 第 5 条 本学会は次の事業を行う。
1. 機関雑誌「商経学叢」(年3回刊行),その他の調査研究報告等の刊行。
 2. 研究会、講演会、見学会等の開催。
 3. 調査、研究資料の蒐集及整備。
 4. 商経学部及大学院商学研究科の学生の研究助成。
 5. その他本学会の目的達成に必要とする事項。
- 第 6 条 本学会の刊行物は無償又は有償にて配布す。
- 第 7 条 本学会には次の委員をおく。
1. 委 員 長 1 名
 2. 企 画 委 員 若干 名
 3. 編 集 委 員 若干 名
 4. 庶務会計委員 若干 名
- 第 8 条 1. 委員長は商経学部長とし、本会を代表し会員中より委員を委嘱する。
2. 委員の任期は1ケ年とす。
- 第 9 条 本学会の年度は4月1日より翌年3月31日迄とし、本学会の運営に必要な経費は商経学部運営費の内より支弁する。
- 備 考 従来の商経学会は納入金費目の改正により解消し、同一名称の商経学会が商経学部教員の研究会として昭和41年度より発足した。



商経学会委員長 生島廣治郎

第53号編集委員 { 上田宗次郎 嶋田昭孝 高野太門 杉本達哉

次号編集委員 { 今西芳治

庶務会計委員 山下昌美 木下 昭

内 容

— 経 済 学 編 —

- 補完流動性の理論……………後 藤 文 利
不完全競争市場下の貨金……………西 村 貢
不均衡財政の貨幣側面……………今 西 芳 治
システム論と経済政策……………桜 井 等 至
線形都市の均衡解……………清 水 克 彦
A. Marshallの需要曲線(2)……………磯 川 暁

— 商 学 ・ 経 営 学 編 —

- 小売マーケティングにおける店舗設計……………岡 本 広 作
昭和49年繊維不況の問題点……………山 中 富 太 郎
官僚制組織の意義(下)……………斉 藤 美 雄
J. F. Schär 「簿記及び貸借対照表第5版」
にもとづく、「附録Ⅱ. 物価騰費(Teuerung)
貨幣価値減少と貸借対照表(C)……………林 良 治
低価法の歴史的過程……………福 田 泰 幸

KINKI UNIVERSITY
JOURNAL OF BUSINESS
AND ECONOMICS

No. 53

December

1975

〈Articles〉

- The Japanese Stock Exchange in 1730..... Tokuichi Simamoto.
- Business Philosophy of Uekawa Sōgi. Yasukazu Takenaka.
Prof. of Kinki Univ.
- Shimamoto's Theory "Kuramai Kitte"—its significance
in the standpoint of social economics Fumitoshi Goto.
Prof. of Kinki Univ.
- The Institutionalization of Stock Holding Akitaka Shimada.
Prof. of Kinki Univ.
- Role of Commodity Terminal Markets. Hiromu Takahashi.
Visiting Prof. of Kinki Univ.
- Centralization of Stock Tradings. Masahiko Sugie.
Prof. of Doshisha Univ.
- On the Shimamoto's Collection Kiroku Huzita.
Visiting Prof. of Kinki Univ.
- Transition on the Trade and the Agricultural Policy
in KOREA Tokao Ikegami.
Prof. of Kinki Univ.
Whan Ki Kim.
- A Structure of Decision Theory Masuzi Yokoyama.
Prof. of Kinki Univ.
- Urbanization and Agriculture. Michihiro Shotoku.
Lecturer. of Kinki Univ.
- The Japanese Translation of "Buchhaltung und Bilanz"
written by J. F. Schär Ryoji Hayashi.
Lecturer. of Kinki Univ.
- Marshall on the Demand Curve (2)
— to be continued — Hiroshi Isokawa.
Lecturer. of Kinki Univ.

KINKI UNIVERSITY

School of Business and Economics
3-4-1 Kowakae, Higashi-Osaka City.
Japan